

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 697

所管部局	福祉部	所管課	子育て支援課	担当者名	山内 紀子
事業名	すこやか学園管理運営費			事業分類	ソフト事業
細事業名	すこやか学園管理運営費			政策体系	114
会計	一般会計	科目	10.教育 - 4.幼稚 - 2.すこ		

1. 事業の概要

就園前の幼児に遊びの場と遊びの友達を提供する。
懇談会・講習会等、保護者同士の学び合い・育ち合う場を提供する。
親の子育ての悩みについて相談に応じる。

2. 事業の目的と必要性

- ①施策で目指す目標との関連付け
幼稚園就園前の幼児（2歳児）を対象とした親子通園事業
- ②事業を実施する必要性
在宅幼児とその保護者に対しての子育て支援事業

3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円	1,355	1,071	1,041	1,058	1,249	1,099	1,099
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	1,098	1,071	812	1,057	1,210	880
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	257	0	229	1	39	219
職員等の従事人員	人/年	—	—	0.05	0.05			
人件費	千円	—	—	336	384			
事業費総額	千円	—	—	1,377	1,442			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

施設管理運営事業 1,057,940円

5. 事業結果の概要

すこやか学園の経常的な管理・運営

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) 募集		
当該年度の通園児を募集するため、広報誌及びケーブルテレビによる募集広報を行う 募集案内：19年10月26日～19年11月23日	10月・11月	
(2) 受付		
各幼稚園、各支所、学校教育課に申請書の受付事務をおこなった 申請書受付：19年11月1日～11月22日	11月	
(3) 決定		
申請者に対し申請用件をチェック・入園決定通知を送付	12月	
(4) 説明会		
実施幼稚園（園部幼稚園）において、保護者説明会及び該当幼児に対する面接を行う。	1月	
(5) 入園及び保育活動の実施		
40組の親子を2班にわけ、週2回（月曜日・木曜日班）（火曜日・金曜日班）に親子通園してもらう。幼稚園が用意した保育年間計画に沿って、行事や保育内容を親子で体験してもらう。通園回数を重ねるごとに親同士の交流や子ども同士の交流が深まっていく。また、教諭との人間関係ができていく中で、子育ての相談なども受け付けている事例もある。常に通園親子に合った保育内容を提供していけるように教諭をはじめ園全体で研鑽を積んでいる。	4月～翌3月（通年）	南丹市全域から通園希望者がある。定員は40組としているが、毎年40組を超える申請がある。保育内容も好評である。すこやか学園通園親子で、親同士の交流が卒園後も続いていることがあり、有効な子育て支援施策になっている。

7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

すこやか学園の運営について幼稚園等と協議を進めた。
就学前の児童（2歳児）を受け入れて、健全な心身の発達を支援する。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
すこやか学園の運営について幼稚園等と協議を進めた。
- ②当該事業のアピール事項
就学前の児童（2歳児）を受け入れて、健全な心身の発達を支援する。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
幼稚園と連携をした事業であり、継続して進める。